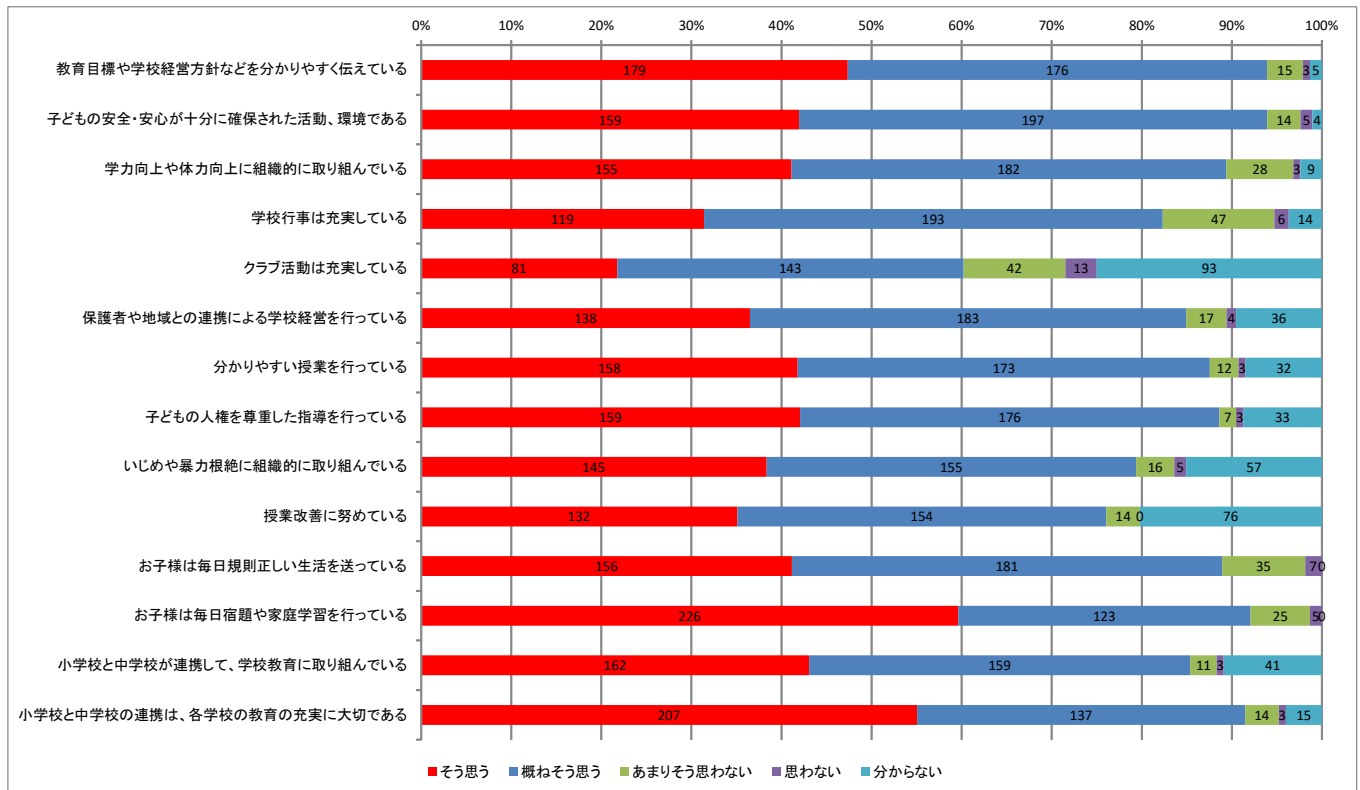


新生小学校の教育に関するアンケート調査(保護者)及び児童アンケート調査結果の報告について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様には、昨年12月に実施させていただいた新生小学校の教育に関するアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。同調査結果と同時期に実施しました児童アンケート調査の結果を報告させていただきます。

1 新生小学校の教育に関するアンケート調査(保護者)結果(提出数387/実施時在籍児童数396)
※一部無回答あり



(1) 調査結果について

多くの項目に関して、概ね80~90%を超える肯定的評価(そう思う・概ねそう思う)をいただきました。本校の教育活動に対しご理解をいただいたことに感謝申し上げます。

特に、「教育目標や学校経営方針などを分かりやすく伝えている」「子どもの安全・安心が十分に確保された活動、環境である」につきましては、90%を超える高い評価をいただきました。教育目標や学校経営方針を伝えること、子どもたちの安全・安心を確保することは学校の責務です。引き続き、様々な取組を進めていきます。

また、「学校行事は充実している」「保護者や地域との連携による学校経営を行っている」「小学校と中学校が連携して、学校教育に取り組んでいる」に関しても、高い肯定的評価をいただきました。学校行事や保護者・地域との連携、小中連携教育は、本校のコミュニティスクールとしての特色でもあります。より一層の充実に努めます。

さらに、「学力向上や体力向上に組織的に取り組んでいる」「分かりやすい授業を行っている」に関しても、高い肯定的評価をいただきました。引き続き、学力向上及び体力向上に力を入れていきます。体力向上に関しては、感染症対策を講じながらの取組となりましたが、今後も工夫を重ねながら継続して取り組んでまいります。しかし、「授業改善に努めている」に関しては、75%の肯定的評価でした。次年度、より一層の日常的な授業改善に努めていきます。

また、「お子様は毎日規則正しい生活を送っている」「お子様は毎日宿題や家庭学習を行っている」という家庭生活に関する項目に関しては、90%前後の肯定的評価でした。本校の家庭の教育力の高さに改めて感謝申し上げます。

一方、「クラブ活動は充実している」に関しては、60%の肯定的評価でした。この項目に関しては、「分からない」という回答も多くありました。ホームページ等で活動の様子をお知らせしているところですが、学校として保護者の皆様に分かりやすく活動を伝えていく工夫により一層努めます。

「分からない」という回答が多かった他の項目に関しましても、教育活動を工夫するとともに、保護者の皆様に分かりやすく活動を伝えていく工夫により一層努めます。

(2) 自由意見について ※全体に関わるご意見から

感染症対策について

感染症対策を講じた上での行事（運動会、宿泊行事の代替行事等）や教育活動の実施等について、「行事の中止は残念だか、苦渋の決断だろうから仕方がない。」「行事も工夫して行っている」「コロナ禍の中で少しでも学校行事を充実させようと工夫している。」等、学校の取組を評価していただいている記述が多数ありました。反面、不安の声もありました。引き続き、感染症対策を工夫しながら教育活動を進めていきます。

宿題の内容や量、取り組み方等について

学校として宿題及び家庭学習について検討し、さらに改善していきます。

教員の指導や対応について

教師の指導や対応に関して疑問の声をいくつかいただきました。児童理解と保護者連携に努め、指導や対応を改善していきます。

見守りのシルバーさんにあいさつしない子が多い

あいさつは本年度の生活指導の重点目標でもあります。あいさつのできる子の育成に努めていきます。ご家庭でも引き続きご指導ください。

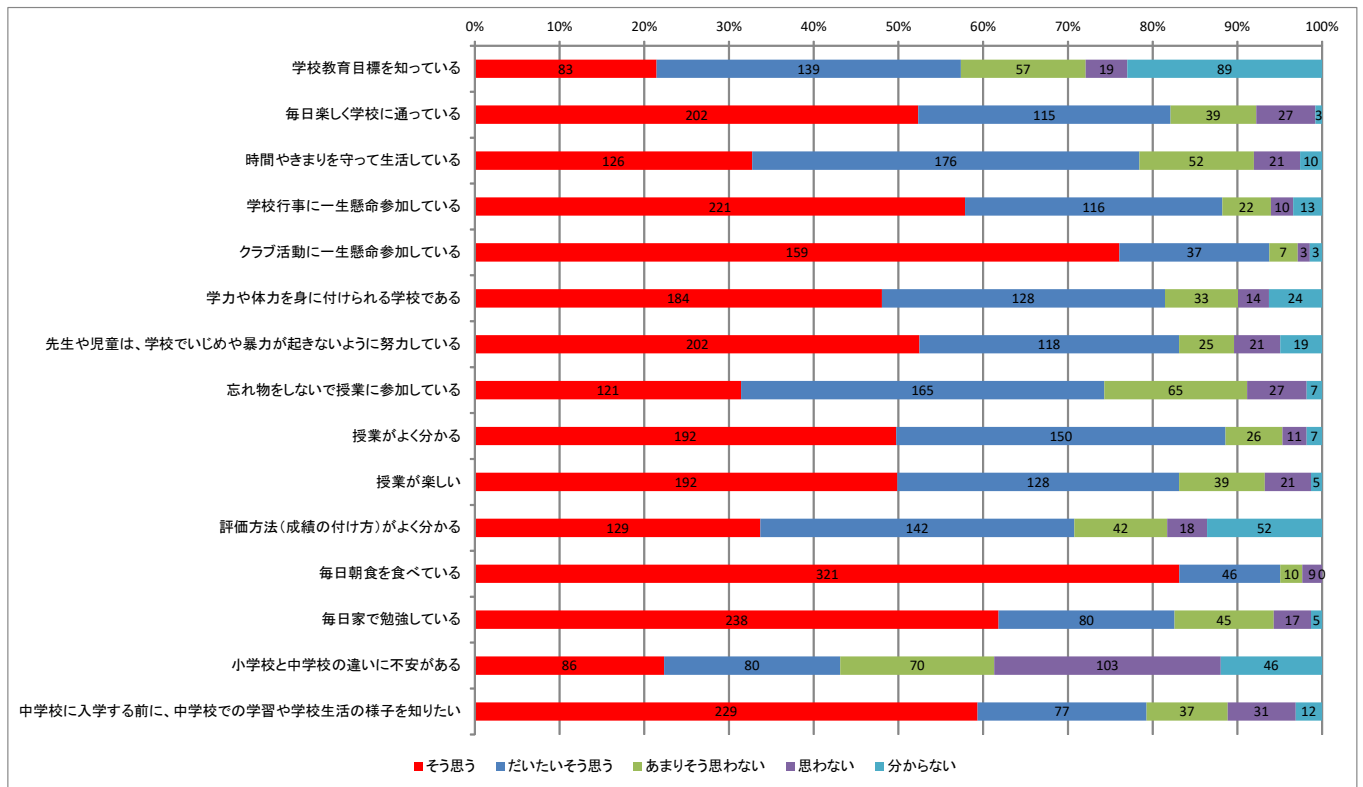
ホームページについて

日誌に関しては毎日更新しております。累計閲覧数は、4月1日時点が25万、2月10日時点が45万と大幅に増加しました。新生小学校のホームページができたのが平成26年です。6年間の累計閲覧数が25万、1年あたり4万2千という計算になります。今年は約10ヶ月で約20万人の方に閲覧していただいたこととなります。いつも閲覧ありがとうございます。しかし、行事予定のページの更新に課題がありました。最新のものをタイムリーに更新するよう改善していきます。

アンケートに「個人名」を記入しなければならないのか。

ご意見に対して、学校と保護者が協力して取り組むことが大切だと考えております。そのために記名をお願いしております。

2 児童アンケート調査の結果（実施児童数379／実施時在籍児童数396）※一部無回答あり



多くの項目に関して、概ね80%を超える肯定的評価（そう思う・だいたいそう思う）を得ました。

「毎日朝食を食べている」の項目につきましては、95%近い肯定的評価でした。一般的に言われているように、「早寝・早起き・朝ごはん」は生活の基本です。加えて、「毎日家で勉強している」も80%を超える数値です。保護者アンケートの結果と同様、本校の家庭の教育力の高さに感謝申し上げます。

「授業がよく分かる」については90%に近い高い肯定的評価を得ました。「授業が楽しい」についても、80%を超える肯定的評価でした。現状に甘んじることなく、一人でも多くの子どもたちが、授業に楽しさを感じられるよう、さらなる授業改善に努めていきます。

さて、「教育目標を知っている」に関しては60%に到達しませんでした。本校の学校教育目標は、「自ら学びを創る子ども（自立）、温かい人間関係を創る子ども（共生）、たくましい気力・体力をつくる子ども（健康）」と、1つ1つが長く、子どもたちには難しい表現になっています。別の表現に言い換えるなど、子どもたちに分かりやすく教育目標の内容を伝える工夫をしていきます。

「評価方法がよく分かる」は70%の肯定的評価でした。子どもたちに分かりやすい評価を心掛けていきます。

「小学校と中学校の違いに不安がある」に関しては、本年度も半数近い子どもたちに不安がある結果となりました。一方で、「中学校に入学する前に、中学校での学習や学校生活の様子を知りたい」に関しては80%近い児童が興味をもっていることが分かります。6年生に関しては八中見学や中学校の教員による出張授業等、連携の機会を多く設定しています。5年生以下の子どもたちにも、中学生による運動会ボランティアや生活科のたこあげ等、中学生と活動する機会を設けています。また、本年度は実施できませんでしたが、小中合同の集団下校や引き渡し訓練等、中学生と活動する機会を設けています。子どもたちの不安を取り除けるよう、小中連携活動のより一層の改善・充実に努めていきます。